

(非営利) 教育支援グループ「E d. ベンチャー」

## 2008年度 事業報告

(2008年1月1日～12月31日)

### 1. 学校支援活動

#### 1) 教師・保護者支援部

##### ①理論学習会

日時：1/7, 2/4, 3/3, 3/31, 5/12, 6/2, 7/7, 8/4, 9/1, 10/6, 11/3, 12/1 (月) 19:30-21:30

回数：12回 場所：富士見文化会館

参加者：述べ141名 スタッフ：述べ30名

対象：学校の教師、教職志望の学生を中心に、広く一般市民

内容：学校で起こっている問題、学校を取り巻く社会の状況など、学校に関わって考えておく必要があるトピックを取り上げて学習会を行いました。

内田良氏 (愛知教育大) 「児童虐待-教育問題の語られ方①」 「学校安全-教育問題の語られ方②」

児島明氏 (和光大) 「外国人生徒を受け入れた教師の対処法 - 見る・見ない・見えない」 「移動する家族の教育戦略と子どもの現状 - 南米の親子に注目して」

堀健志 (青山学院大非常勤) ・大多和直樹 (東京大) ・清水睦美 (東京理科大)

氏 「大和市教育研究所の調査報告の概要 - 私たちは調査結果をどのように見ればいいのか？」

教師による『優劣のかなたに』 (荻谷夏子著) の報告会

荻谷夏子氏 「大村はまの人と思想に迫る」

清水睦美 (東京理科大) 氏 「ジェンダーを考える」

松義一樹 (小学校教諭) 氏 「総合的な学習を考える」 「小学校英語活動を考える」

萩野谷洋一 (中学校教諭) 氏 「新学習指導要領を読む-現場からの視点」

庄司郁美 (小学校養護教諭) 氏 「保健室から学校を斬る」

内藤順子 (小学校教諭) ・柿本隆夫 (中学校教諭) ・清水睦美 (東京理科大) 氏  
「若手教員の質問・疑問に答える」

様子・反省・課題：小学校の英語活動、新学習指導要領についてなどタイムリーな話題を扱った学習会の他、荻谷夏子先生をお迎えしての講演会や座談会形式での学習会など、新たな試みも行いました。また、小中学校の先生に講師となって頂くなど、参加者により深く関わっていただきました。引き続き、広く参加者を募るため、呼びかけを続けていきたいと思っております。

##### ②授業研究会

#### <授業実践>

日時：1/5, 12, 3/1, 15, 4/5, 12, 5/10, 17, 6/21, 28, 7/5, 19, 9/13, 20, 10/4, 18, 11/1, 15, 12/6, 13

(土) 18:30-20:00 回数：20回

場所：渋谷中学校開放会議室、いちようコミュニティハウス

参加者：対象児童（すたんどばいみーの小5，6年生）延べ175名、 参観者延べ88名  
スタッフ：延べ36名

### <研究会>

日時：1/21, 3/23, 4/28, 5/26, 6/30, 7/28, 9/22, 10/20, 11/24, 12/22（月）19:30-21:30

回数：10回 場所：富士見文化会館 参加者：延べ80名 スタッフ：延べ14名

対象：教師・教職希望の大学生などを中心に、広く学校の授業に関心のある者

内容：数学の授業（池田先生）-正の数・負の数

国語でもなく理科でもなく社会でもなく算数でもない…？の授業（内藤先生）

-「ものを比べる」「外来語」

音楽の授業（平石先生）-発声

英語の授業（篠原先生）-アルファベット

言葉について考える授業（内藤先生）

家庭科の授業（近藤先生）-栄養素

社会の授業（神戸先生）-一人暮らしをしよう

国語の授業（柿本先生）-「アニメの脚本作り」「最後はみんなで劇をしよう」

社会の授業（村本先生）-「国旗」「地図」

図工の授業（松義先生）-色のきまり

検討会 - 授業研究会のあり方について、授業担当者が集まり検討（6/18、12名）

様子：今年度は年間のテーマを二つ決めて取り組みました。一つは学習活動に「比較」の論理を入れ込む。二つ目は、子どもたちを学級集団に見立てて、集団的な活動やグループでの学習形態を取り入れてみる。結果、各授業の担当者が様々な角度からチャレンジすることができました。しかし、子どもたちの様子には波があって、授業者にとっては汗をかく場面が多かったようです。子どもたちは前年度と比べて、安定して参加してくれました。

反省・課題：授業担当者を増やしていくこと。授業研の担当者の分担をはっきりとすること。ビデオや教材の蓄積と活用。ブログへのアップが滞らないようにすること。

### ③教育講演会

<設立記念講演会> ※大和市教育委員会後援

日時：2/23（土）14:30-17:30 回数：1回 場所：大和市勤労福祉会館 ホール

参加者：77名 スタッフ：2名

対象：教師、保護者、学生及び一般市民

内容：現代日本における教育の意味について深く考えあうための講演会を開催。荻谷剛彦氏（東京大）「<職業>としての教育」。

様子：講演は、国語教師として一生を全うした大村はま氏の実践を手掛かりにしながら、自由と平等、押し付けと選択、教えることと学ぶことの間で格闘することの意味を問い、現代において「職業としての教師」がいかんにして可能か、そして知識がいかんにか大切に探究する内容であった。後半は、荻谷先生に大和市の教育行政・学校関係者を加えた5名（司会者も含む）によるパネルディスカッションを行った。フロアからも盛んに意見や質問が出され、共通性と個別性を同時に追求することが求め

られる公教育の難しさ、ベテラン教師の経験を若い教師に伝えていくことの重要性和その方法などについて考えを深めるよい機会となった。参加者も多く、盛況のうちに終えることができた。

反省・課題：第一回目の教育講演会は、多くの教員や市民の方々の参加があり、熱心な議論が繰り広げられて大変意義深いものであった。今後の教育を担っていく若手の先生方の参加が多かったことも、特筆されてよいだろう。次回以降の教育講演会でも、まずはその状況を維持していくことが重要である。

#### <事前学習会>

日時：10/26（日）13:30-16:30、12/21（日）14:00-16:30 回数：2回

場所：富士見文化会館 参加者：延べ31名 スタッフ：延べ4名

対象：教師

内容：次年度の教育講演会に向けての事前学習会。講師の小玉重夫氏の著作『シティズンシップの教育思想』その他をテキストとした。

様子：今年度の教育講演会の準備段階ではなかった新たな試みであった。参加者は必ずしも多くはなかったが、次年度教育講演会で講師予定の小玉重夫氏が書かれないいくつかの文献を、現場の問題意識と照らし合わせながら読むことにより、講演会に向けての問題意識を深める良い機会となった。

反省・課題：参加者が比較的少なかったこと、文献の報告にかなりの時間を費やした結果、議論の時間を必ずしも十分にとることができなかったことなどの課題も残った。今後は、情報発信や進行の仕方などについて工夫する必要がある。

#### ④教師相談

相談件数：2件 回数：4回 対応スタッフ：延べ5名 対象：教師

内容：①現職養護教諭からの、所属する研究会での研究の進め方についての相談

②教員希望者からの、非常勤・臨任教員登録、授業づくりについての相談

様子：①については、相談者が研究会に提出する予定の事例を確認した上で一緒に課題を整理しました。結果、研究会で提案がうまく通り、研究の方向性をうまく出すことができたということでした。②については、理科の臨任登録にあたって授業研究と実習のアレンジをしました。元理科教員の方に協力を依頼し、相談に参加していただきました。実習に関しては、市内中学校にお願いして継続中の案件となっています。

反省・課題：現場の先生達は様々な悩みを持っていますが、相談件数は少なかったです。Ed.ベンチャーの他事業にはたくさんの先生の参加が見られるようになってきているので、なるべくお話する機会を設けるなどしながら、現場の先生のお手伝いができるような体制を考えたいと思います。

## 2) 学校支援部

### ①調査援助

#### <学校で行われる調査の援助>

日時：4/17（木）、28（月）、6/18（水）、20（金）、7/4（金） 件数：2件 回数：5回

場所：光丘中学校、大和中学校 参加者：延べ62名、スタッフ：述べ28名

対象：教師

内容：光丘中学校と大和中学校の調査の援助、分析と報告。

様子：2校から依頼された学力調査と意識調査については、これまでの経験をもとに行われたので、特に大きな問題もなく進めることができた。また、光丘中学校については、援助の範囲を取り決めるための訪問を行ったために、組織的な対応ができた。

反省・課題：調査結果が、その後、どのように利用されたのかについて、それを把握する流れになっていなかったため、学校と事業との関係が、「結果を出せば終わり」になっている。次年度は、流れを再検討したい。

#### <調査援助事業による研修企画>

日時：8/11（月）～12（火）の一泊二日 場所：南伊豆コテージ桜亭

参加者：4名 スタッフ：3名 対象：教師

内容：「調査データを再分析する」ための合宿

様子：参加者は少なかったが、SPSSを使って各学校ごとの傾向を分析することで、経験的な理解を超えた生徒理解をすることの重要性を参加者は学んだようであった。

反省・課題：参加者が少なかったことが残念であった。多数の参加が見込める日時や場所の設定が必要である。

## ②教育ボランティア

件数：2件

日時：依頼に対する検討会議・・・3/26（水）, 10/2（木）, 12/15（土）

学校との打ち合わせ・・・10/9（木）, 12/24（水）

支援・・・10/21, 23, 28, 30, 11/4, 6, 11, 13, 18, 25, 27, 12/2, 4, 9, 11, 16（火・木）

件数：2件 回数：21回

場所：検討会議・・・事務所、富士見文化会館、渋谷中学校開放会議室 打ち合わせ、支援・・・大和小学校

参加者：対象者述べ21名 スタッフ：述べ25名

対象：援助を希望する学校、教師、子ども

内容：①大和市中・北部学区の外国人生徒支援について

②学校に編入したばかりの外国人児童の支援依頼

様子：①については、小学校の国際教室担当教師から、国際教室のない中学校へ進学する生徒の学習支援について相談を受け、検討した結果、学習支援教室「エステレジャー・ハッピー」教室の立ち上げにつなげました。②については、当該児童の教室に入り込んで、授業の理解を支援しました。周りの子どもとつながるような支援を意識して行いました。もともと力のある児童だったこともあり、友人関係や授業理解は確実に進歩しました。当初3カ月の予定でしたが、12月に検討会議を行い、学校と打ち合わせを行った結果、3月までの継続となりました。

反省・課題：昨年度同様、国際教室のない学校における外国人児童生徒の支援に関わる支援の要請依頼でした。昨年度の事例から、国際教室のない学校において外国人児童生徒をどう受け入れたらよいのか、マニュアルを作るのが事業計画でうたわれまし

たが、実現できませんでした。今年の事例からもおそらく潜在的なニーズはあると思われるので、早急に実現させることが課題です。

### ③ホームページ支援

#### <学校ホームページ支援>

日時：3/4（火）、24（月）、12/24（水） 件数：1件 回数：3回 場所：大和中学校

参加者：7名 スタッフ：5名 対象：学校

内容：大和中学校ホームページ支援。

様子：第一四半期：コンセプト案および更新工程表を提示。第二四半期：ホームページに情報を配置。第三～第四四半期：先生方とともにサイト構築 行事や部活のひな形も作成。また、活動担当者が加わり、スタッフが増強された。

反省・課題：一応の情報を掲載したものの、「作りかけ」感がある。また、情報更新頻度や内容も充実しているとは、いいがたい。運営については情報を集めてもらって、こちらで作成というプランがうまくいっていない可能性がある。先生方が直接すぐ、ページを作っていけるような体制が必要。今後の予定は、先生方の画像編集および、記事作成のレクチャー、ホームページ作成スキームの再検討など。

#### <Ed.ベンチャー ホームページ及びブログ関連>

内容：会のホームページの制作、スタッフブログの調整。

様子：前年度より作成の Ed.ベンチャーサイトを構築完了させた。写真の差し替え、インデント、文字間隔等デザインを微調整した。スタッフブログは、カテゴリの追加。

反省・課題：ホームページは、写真の充実とともに、アーカイブ(過去の情報)を見やすく作成する必要がある。スタッフブログは、アーカイブ機能の充実が課題である。

## 2. 外国人支援活動

### 1) すたんどばいみー基金の会

#### <基金の状況>

援助：4名 164口（グェンタンティン 15口、チューブサラーン 40口、チャンソワンナリット 15口、大城グスタボアドリアン 94口）

預かり金・寄付：新規 137口（預かり金 112口、寄付 25口）

対象：「すたんどばいみー」で活動する大学生及び大学院生（原則・外国籍）

#### <報告会>

日時：1/26（土）14:00-19:00 回数：1回 場所：渋谷中学校開放 会議室

参加者：20名 スタッフ：2名 対象：基金の援助者、被援助者

内容：2007年度の活動及び会計報告、Ed.ベンチャー関連報告及び規約変更、次年度方針の検討。

様子：報告会にて、Ed.ベンチャーの一事業としての活動することが承認されての活動となった。2008年度は、援助の必要を見ながら、預金・寄付を募る活動を継続した結果、援助できない状況が生まれることもなく事業を展開できた。

2008年度の報告会は、次年度事業になるが、内規に従い、2009年1月31日に行った。

課題・反省：2009年度の援助の必要が160口見込まれており、預金・寄付を積極的に集める必要がある。

## 2) 大人支援部

### ①生活相談

日時：4/15(火), 24(木), 5/11(日), 6/30(日) 7/8(火), 11/16(日)

件数：3件 回数：6回 場所：渋谷中学校開放、会社、市役所

スタッフ：延べ11名 対象：外国人

内容：①就職(アルバイト)相談 ②納税関係の相談 ③住居相談

様子：①定時制高校入学にあたりアルバイトを変えたいという相談で、ハローワークと会社の面接に付き添いました。いったんは採用されましたが、無断欠勤が理由で解雇となりました。その後自分でアルバイト先を見つけ相談は終了しました。

②市役所から送付された所得税納付書についてわからないという相談で、説明をした上で市役所に付き添い、減額されることが分かりました。

③離婚後も配偶者と同居していたが、口げんかになりがちで子どもに悪影響があるので別居したいという相談でした。市の一時入居施設のようなものがあればという話だったので、市役所に付き添い、担当者に相談をしました。結果、入居可能だが行動の制約があるので、申請は断念しました。次の公営団地入居のための申請書記入を手伝いました。

反省・課題：少ないながらも3件の相談があり、いずれも外国人にとっては困難に感じることの多い事例でした。しかし、「解決」に至ったのは1件のみで、①に関しては、来日後すぐに学校に入ることができない10代の外国人青年の、日本社会との接続の難しさを感じました。③については、子どもを引きとって離婚した女性の生活の余裕のなさが、遠くへの転居やコストのかかる民間アパートへの入居を躊躇させ、結果として現状が改善に向かわない難しさがありました。一つ一つの事例に対処していくのはもちろんですが、外国人の雇用にあたり事前の条件説明を理解できるかたちでしていないなど雇用主側の問題や、生活を大きく変えるハードルの高さなど、外国人にとっては、より広い社会的な改善の必要性が感じられました。同様の相談が今後あることは十分考えられるので、これらの事例を整理し、日本社会に改善を提案できるような活動にしていく可能性を考えたいと思います。

### ②お父さんとお母さんのための日本語教室

日時：日曜日 10:00-12:00 回数：46回

場所：大和市立渋谷中学校学校開放「下和田の郷」会議室

参加者：延べ109名 スタッフ：延べ46名 対象者：外国人の大人(中学生以上)

内容：ひらがな、かたかなの読み方・書き方という日本語の基本から、簡単な文章を読み、日本語の表現に慣れる。特に実生活に即した言葉の獲得を目指している。教材も日常生活の場面を想定したものを使っている。町の中で見かける看板からかたかなと意味を知ったり、小学校の国語教材や日本語のテキストの文章から、日本語の独特な表現や意味を理解してもらっている。

様子：言葉がわかってきても、職場などでは外国人ということで、日本語で話す機会が少ないのか、職場でのこと（一番多い）、子どもが話したこと（子どもは家で日本語をよく使うようだ）、学校からの連絡、日本の習慣から自国の国の話など、とてもよく話す。時々予定の内容が消化できないこともあるが、それが面白いと言っている。

反省・課題：学習の内容はこれでいいのかというのが常に気がかりだが、一人の方から「この頃とても日本語がわかるようになりました」という話を聞き、とりあえず続けることかなと思っている。課題はやはり、人が集まらないこと。生活も厳しくなっているようで、なかなか解決策は見つからないかもしれないが、勉強してみたいという人は潜在的に多いと思う。

## 2) 子ども支援部

### ①エステレージャー・ハッピー

日時：土曜日 10:00-12:00 回数：34回

場所：事務所、コミュニティーセンター鶴間会館実習室、大和市勤労福祉会館和室など

参加者：延べ93名 スタッフ：延べ90名 対象：外国人の小中学生

内容：学習補充。小学生は国語・算数・社会など。中学生は数学・国語・英語・作文など。

教材は学校の教科書の他、市販教材を使用。

様子：4月から始まった学習支援教室です。教室名は子ども達で考えて名づけ、「エステレージャー」はスペイン語で「星」という意味だそうです。当初は国際教室のある小学校から、国際教室のない中学校へ進学した新中学1年生を想定して教室を開始しましたが、小学生のキョウダイを連れての参加が見られ、小中学生対象となりました。ニーズ発掘のため、秋に大和市中部・北部の小中学校にチラシを配布、その後学校や学校に関係する通訳を通じて子どもたちが増加しました。子どもの国籍、学校、学年、来日年数共に多様で、日本語の社会生活言語指導が中心の子どもから、教科指導を通じた学習思考言語の指導が必要な場合まで様々です。スタッフは「すたんどばいみー」のスタッフとともに、現役の国際教室担当教師が集まってきており、そういった先生たちが学校の外でも子どもを支援する場づくりをしていく意味は大きいと考えます。

反省・課題：当初子どもは口コミで増加するだろうとの予測を立てていましたが、子ども同士の声かけがきっかけで参加するようにはならず、そのため、各学校に教室紹介のチラシを配布しました。これは大和市南部で開催している「すたんどばいみー」とは異なる点であり、外国人の子ども同士の関係のあり方が、南部と中・北部では異なっていることが予想され、意識的に子どもたち同士が集まる場を作っていく必要があります。また、チラシ配布の効果で子どもたちが増加した結果、現在使用している会場が手狭になったこと、スタッフが不足していること、教材選定の難しさなどが課題となっています。

### ②すたんどばいみー

#### <運営委員会>

日時：月2回土曜日 18:00-21:00 回数：24回

場所：渋谷中学校開放会議室、和室 参加者：延べ 238 名

内容：各教室の報告、運営上の問題点や子どもの様子の検討、イベントの検討、選択国際の内容検討、予定の確認など

#### i) 海外活動支援（フリーマーケット）

日時：2/24（日）、5/10（土）、11（日）、11/15（土）、12/13（土） 回数：5回

場所：泉公園、引地台公園、オークシティ駐車場 スタッフ：延べ5名

内容：将来的に途上国の物品の販売を目指していますが、本年度も身近で集めた不用品を販売して今後の可能性を探りました。

#### ii) 各種教室

場所：渋谷中学校開放会議室、和室、被服室、調理室、視聴覚室、武道場、音楽室

<小学生教室> ※大和市教育委員会後援

日時：毎週土曜日 14:00-16:30 回数：45回

参加者：延べ686名 スタッフ：延べ215名 対象：就学前幼児～小学校6年生

内容：国語・算数を中心とした学習支援。教材は市販の学習教材の他、自主作成教材も使用。

<中学生教室> ※大和市教育委員会後援

日時：毎週火・金曜日 18:00-21:00 回数：77回

参加者：延べ654名 スタッフ：延べ467名 対象：中学生

内容：中学校の学習・テスト前学習・高校受験学習支援、母国について学ぶ選択国際、スポーツ、会議

<高校生教室>

日時：毎週日曜日 18:00-21:00 回数：16回

参加者：延べ43名 スタッフ：延べ30名 対象：高校生、中学既卒生

内容：高校の学習支援、テスト前学習

<大学生教室>

日時：毎月第2（10月より第3土曜日） 10:00-13:00 回数：7回

参加者：延べ32名 スタッフ：延べ9名 対象：高校生、大学生

内容：“Growing up in America :How Vietnamese Children Adapt to Life in the United State” (Min Zhou, Carl L. Bankston III, 1998) の購読

<TOEIC 教室>

日時：毎週日曜日 19:00-21:00 回数：10回

参加者：延べ20名 対象：大学生のTOEIC受験及び学習希望者

内容：TOEIC受験対策学習

<母国語教室> ※大和市教育委員会後援

日時：毎週土曜日（第2除く、10月より第3除く） 10:00-13:00 回数：36回

参加者：延べ447名 スタッフ：延べ117名 対象：就学前幼児～大学生

内容：ベトナム語、カンボジア語、ラオス語、中国語、スペイン語の学習。会話と文字の読み書き中心（ラオス語、カンボジア語、スペイン語教室は生徒不在のため休室中）。

### <南米教室>

日時：毎週土曜日 10:00-12:00 回数：9回

参加者：延べ12名 スタッフ：述べ9名 対象：南米出身の小学生～中学生

内容：南米出身の児童生徒を対象とした学習支援。学校での学習内容定着度を自主作成テストを用いて把握、弱い学習内容を支援。

### <音楽教室>

日時：毎週日曜日 10:00-12:00 毎週水曜日 17:00-21:00 回数：57回

参加者：延べ282名 スタッフ：述べ282名 対象：就学前幼児～小学生

内容：楽譜の読み方、ピアノ演奏の入門

### <水曜教室>

日時：毎週水曜日 18:00-21:00 回数：8回

参加者：述べ16名 スタッフ：延べ16名 対象：来日間もない中国人中学生

内容：11月より開始。2009年2月までの開催予定。日本語の学習、学校の学習補充、高校入試対策。

### iii) イベント

#### <神戸ボランティア養成講座での発表>

日時：2/16(土) 場所：神戸 参加者：4名 スタッフ：2名

内容：神戸のボランティア養成講座の最終回に講師として呼ばれ、選択国際について発表。

#### <中学生スケート>

日時：3/16(日) 場所：東神奈川スケート場

参加者：7名 スタッフ：8名 対象：中学生

内容：中学生教室でスケートに出かけた。

#### <中学生卒業&高校合格お祝い会>

日時：3/27(木) 場所：大和市立渋谷中学校学校開放「下和田の郷」

参加者：13名 スタッフ：8名 対象：中学生

内容：中学生の卒業と、高校の合格を祝う会。

#### <新中学生3年生勉強合宿>

日時：4/2(水)～4(金) 場所：野島青少年研修センター

参加者：5名 スタッフ：10名 対象：新中学3年生

内容：中2までの復習と、中3の予習。

#### <母国語劇>

日時：4/26(土) 場所：大和市立渋谷中学校学校開放「下和田の郷」

参加者：41名 スタッフ：16名 対象：小中学生

内容：ベトナム語教室の生徒が「ピーターパン」を、中国語教室の生徒が「舌切り雀」をそれぞれ母国語で演じた。

#### <田植え体験>

日時：5/3(土)～5(月) 場所：福井県あわら市

参加者：3名 スタッフ：2名 対象：高校生・大学生

内容：キャンプやイベントで使うお米作りを手伝う。

### <小学生遠足と社会見学>

日時：6/14, 7/5, 11/8 (土) 場所：泉の森、ズーラシア動物園、つくし野アスレチック  
参加者：66名 スタッフ：28名 対象：小学生教室の生徒  
内容：泉の森へ全学年で遠足。ズーラシアは3年生以下。アスレチックは4年生以上。事前に電車に乗る練習など準備をした。

### <小学生教室指導法学習会>

日時：6/22 (日) 9:00-17:00 場所：富士見文化会館  
参加者：10名 スタッフ：1名 対象：小学生教室のスタッフ  
内容：内藤先生を講師に、水道方式による指導法の学習会。

### <中学生キャンプ>

日時：8/15 (金) ~17 (日) 場所：道志の森キャンプ場  
参加者：11名 スタッフ：9名 対象：中学生  
内容：炊事、水遊び、山登りなど。

### <小学生クリスマス会>

日時：12/20 (土) 14:00-17:00  
場所：渋谷中学校開放視聴覚室  
参加者：44名 (内子ども29名、大人15名) スタッフ：11名 対象：小学生  
内容：学年別の出し物。歌、楽器演奏、ダンス、手品、コントなど

### <中3受験合宿>

日時：12/26 (金) -28 (日) 場所：野島青少年研修センター  
参加者：4名 スタッフ：16名 対象：中学3年生  
内容：中学校の先生に講師を依頼し、前期試験対策(面接練習)5教科の受験対策の学習。

### iv) 進路相談・個別相談

日時：1/6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 15, 17, 19, 20, 22, 24, 27, 31, 3/28, 4/8, 11, 8/27, 11/17  
回数：22回  
場所：神奈川県立希望が丘高校、事務所、渋谷中学校開放、  
瀬谷公会堂  
参加者：延べ49名 スタッフ：33名 対象：相談したい子ども  
内容：高校受験手続き付き添い、高校生の登校支援、高校入学説明会付き添い、入学式付き添い、中学3年生の受験対策の教室、テスト対策の教室

様子・反省・課題：2008年度もすたんどばいみーでは、いろんな教室が開かれて、それぞれ違ったニーズを持つ子ども達を対象にして、活動が行われました。

小学生教室は、固定スタッフが来られない時に違うスタッフが見る場合など、同じスタッフが連続して同じ生徒の学習を見られない週などもあるので、前回の続きが分からなかったりするので、次は何から始めればいいのかなど分かるように生徒一人ひとりのファイルを作りました。何を学習したかや次週やろうとしている学習を書いて、プリント学習をしたならそのプリントも挟むようにしています。6月に小学生遠足で泉の森に行きました。7月には低学年だけで、社会見学として動物園

に行きました。11月に高学年でアスレチックに行きました。就学前や1年生などは、親に連れられて勉強に来ます。2年生以上は大体みんな自分でも来られるようになります。だけど、5年生や6年生の、女子はたまに来て勉強して行きますが、男の子は教室の近くにいても遊びに来ただけで教室に入ろうとしません。クリスマス会の前は集めるのが大変でした。

クリスマス会は、代表の3人で、全体確認をちゃんとしていなかったから所々隙間がありました。2ヶ月に1回イベントをやるという話が出てましたが、後半はあまりできなかつたです。社会見学は、低学年が動物園にいったくらいで、他にはどこにも行ってないです。ハム工場などに行く話もでしたが、行かなかつたです。今年からは、社会見学は小学生教室全体で行くのではなく、行きたい学年があればその学年で計画を立ててやることにしました。前半はたくさん就学前の子がきていましたが、最近では減っている気がします。就学前からの学習は大事なことで、これからロコミやチラシなどを配って就学前生徒を増やそうとしています。去年は、難易度別にあるプリントの減少の補充が不十分だったので、これからは、こまめにチェックするつもりです。

中学生教室は、週に2回行われています。普段は、1,2,3年生が一緒の教室で勉強をしています。最初の頃は、全学年が一緒の教室で勉強をするとうるさくなったり、落ち着いて勉強ができなかつたりと、集中して学習ができないということで、各学年に分けました。でも、3年生の受験の様子や勉強の姿を下の学年の子に見てほしいと考え、また教室を同じにしました。その甲斐があり、受験の姿をみて高校について考えるようになった子がいたり、高校に対する意識が強くなったと思います。テスト前には、学習の日程をふやしてテスト対策をしたり、受験が近くなれば、学校の先生に頼んで教室に来てもらい面接をしたりとしてきました。選択国際では、最近話題になっている通貨の勉強をしたりしました。母国の物価と日本の物価の比較をし、みんなほかの国の物価も知れてよかつたです。しかし、選択国際になるとなかなか生徒が集まりません。母国についての意識が薄れてきているのだと思います。外国人である以上、母国を知ってほしいので生徒が集まらないのは、これからの課題です。

高校生教室は、活動をしたりしなかつたり不安定な1年でした。主に2人が生徒で先生が3人くらいです。中学校の先生を呼ぶ時があつたりなかつたりしました。たまに高1の子が一人来たりしました。主に、テスト前によく活動するのが多いです。そろそろ受験勉強を始めてもいい時期なのにやめてなかつたのが反省です。中学生教室の受験合宿と兼ねて、高校生の受験勉強もしました。センターや一般の過去問を買って、国語・世界史・英語・科学・数学をやりました。合宿が終わってからまだ過去問に触れていないので、そろそろ受験勉強を始めるつもりです。4月からは新しい高校生が何人かくるので、もっと大きく動きたいです。

母国語教室のベトナム語は、毎週土曜日の10～11時30分までやっています。新しい先生が消え、なぜ消えたか分からないが戻ってくる感じはないです。現在も講師を探していますが、眞田さんの紹介で、もしかしたら新しく講師がきます。今は、エイリとバオが先生として教えていますが、先生が足りなくて、もっとレベル

が進める子は進めていない状態です。中国語教室も一定の生徒が来ていて、スタッフが講師となり、活発に行われました。ラオス語、カンボジア語は休止中、生徒の要望があれば再開します。

大学生教室は、毎月第2土曜日に開催、途中からベトナム語教室の都合で第3土曜日になりました。内容は英語文献の翻訳と内容理解。できなかったときは、違う日を設定してやっていました。教室の代表が途中でティンからあゆみになりました。参加人数は、3～4人です。1日1ページしかできていないです（やっとこれから1章に入る）。

オリエンテーションも何度か行われました。昨年度参加したボランティアさんは4名です。（日本人3人、朝鮮人1人）大体15分～30分ではいみみの活動内容などを説明したらオリエンテーションは終わります。もう少し長めのオリエンテーションができるように説明や注意を増やそうかという案がでました。

その他にも、音楽教室、南米教室、フリーマーケットも常時開いていました。新たに水曜教室、ダンス教室などもできた。トッカビのこども達の交流、スタッフの伊豆合宿、市民祭りへの参加(焼きそば販売)など多岐にわたる活動をしていきました。

### 3. 事務局の活動

日時：原則として平日 10:30-18:00

場所：主にE d. ベンチャー事務所

スタッフ：6名（事務局長1名、会計1名、事務局員1名、事務局ボランティア3名）

内容：会の活動を遂行するための活動

- ①外部からの問い合わせや依頼に対する対応（調査援助や教育ボランティア依頼対応、生活相談依頼対応、各種教室参加依頼対応、ボランティア希望者対応、取材対応（大和市国際化協会、神奈川子ども未来ファンド）。研究者や学生の調査依頼対応、など）
- ②各活動の掌握
- ③活動相互の連携補助（教育ボランティア対応検討会議設定、エステレージャーハッピー教室のチラシを市内の小中学校を訪問して配布、役員名刺作成、各種案内送付作業、活動会場の確保など）。
- ④ホームページの更新
- ⑤会の出納に関すること（会費の管理、活動費の管理、助成金の申請など）
- ⑥資料などの整理（会の封筒印刷依頼、改訂版パンフレット作成、講演録作成など）
- ⑦活動報告会の設定
- ⑧会員管理

反省・課題：初めての年間を通した年度を経験し、手探り状態での一年間でした。神奈川子ども未来ファンド助成を頂くことができたので、財政的には比較的余裕をもって運営できたと思います。しかし、会員の増加や各活動の充実などにより、事務的な仕事量も増え、必ずしも各活動の支援ができていたとは言えません。仕事をマニユ

アル化していくこと、事務局のお手伝いを増やすことで事務処理をスムーズにし、各活動や会全体の動きをこまめに発信し、会員や支援の利用の増加、会への理解を促すことに力を入れたいと思います。

#### **4. 活動報告会の活動**

日時：1/20（日）, 2/18（日）, 4/13（月）, 6/8（月）, 9/4（月）, 11/6（木）

回数：6回 場所：富士見文化会館

内容：活動報告会を開催し、各活動に関する報告、活動間の連携に関する事項や活動推進上の諸問題の解決に関する事項を検討しました。

#### **5. 総会の開催**

日時：2/23（土）13:00-14:00 場所：大和市勤労福祉会館ホール

内容：2007年度事業・収支・監査報告、2008年度事業計画・予算、会則の変更、2008年度役員名簿について審議した。